

「無償教育の漸進的導入」に関する日韓（韓日）連帯シンポジウム

2012年8月31日に韓国から関係者を招いて、「『無償教育の漸進的導入』に関する日韓（韓日）連帯シンポジウム」を開催しました（龍谷大学社会科学研究所「大学評価・大学経営研究センター」共催）。韓国側からの二報告（大学登録金半額化の市民運動、大学教育への公的責任の強化策並びに登録金後払い制の提案）の他、日本からも大学教員（国庫助成に関する全国私立大学教授会連合）、教職組（日高教）、学生（京都府学連）が発言し、両国における取り組みの交流を行いました。



「無償教育の漸進的導入」に関する日韓（韓日）連帯シンポジウム

趣 旨：日本と韓国は高等教育費の対GDP比がともに0.6%（2007年）とOECD加盟国で最下位にあり、高等教育への公財政支出が低く私費（家計）負担の大きい点で酷似している。日本では、2012年2月に玄葉外務大臣は国際人権A規約13条（b）（c）項について留保撤回の方向を国会で表明したが、その具体方策はまだ見えてこない。一方、韓国では、大学登録金（授業料を含む納付金）半額化の市民運動が展開され、大学教授労組からは「登録金後払い制」といった興味深い提案もなされている。このような情勢を踏まえて、国際人権A規約第13条に規定する「無償教育の漸進的導入」に関して、日韓（韓日）の連帯シンポジウムを開催する。

主 催：大学評価学会、龍谷大学社会科学研究所（大学評価・大学経営研究センター）

共催・後援：国庫助成に関する全国私立大学教授会連合

日本高等学校教職員組合・京都府立高等学校教職員組合

京都府学生自治会連合

協力・後援：日本希望製作所

日 時：8月31日（金）午後

場 所：龍谷大学アバンティ響都ホール（京都駅八条東口徒歩1分 アバンティビル9階）

<http://www.ryuk>

oku.ac.jp/ryudaihall/

内 容：

1:00～開 会・趣旨説明（大学評価学会）

1:10～第一報告

・韓国における大学登録金半額化の市民運動（仮題）

～韓国・参与連帯民生希望チーム長 安珍傑（アン・ジンゴル）氏

2:10～第二報告

・韓国における大学教育への公的責任の強化策並びに登録金後払い制の提案（仮題）

～韓国・祥明大学校英語教育学科教授 朴巨用（パク・コヨン）氏

3:10～休 憩

3:30～連帯発言①

・国庫助成に関する全国私立大学教授会連合の取り組み

3:40～連帯発言②

・教職員組合（日高教・府高教、全教）の取り組み

3:50～連帯発言③

・京都府学生自治会連合の取り組み

4:00～質疑応答・意見交換

5:30～閉 会

・司会：渡部昭男（神戸大学）、細川孝（龍谷大学）

・コーディネート&通訳：桔川純子（日本希望製作所）

参考資料：渡部・日永・望月（2012）「高等教育における「無償教育の漸進的導入」に係る韓国の動向」『社会科学研究年報』（龍谷大学）第42号。